

Compass

あきらめない。
早めの準備と計画で
必ず休むぞ
「統一土曜閉所」



11月11日(土)は
統一土曜閉所日

当作業所は11月 日()に読み替えて閉所します。

9月、10月は準備期間です

建設産業の格付化にむけて建設産労協（建設産業労働組合連合会）の仲間とともに取り組んでいます。

日本建設産業協会の協賛（日建協） 全労工労連 建設連合 建設産業労働組合連合会

次回は6月9日(土)



建設産業の新たな ステージへ。

日建協第83回定期大会・名刺交換会報告

2006年度 日建協の活動&本部役員

サイクリングのすすめ
環境にいい。健康にいい。
経済的。これがサイクリング
の3Kだ。

加盟 組合 交流日誌

意見交換会の積み重ねから

「次のステップ」へ

提言「公共工事における無報酬業務を解消するために」の活動

この1年

子供たちが憧れる産業をめざして!

どうなる? トピックス 労働時間法制

- Web版 開設!
- 日建協の共済制度 締切迫る!
- フジタ職員組合

Vol.
768

日建協
日建協ホームページアドレス
<http://www.nikkenkyo.com/>

建設産業の 新たなステージへ。

8月1、2日に東京(日暮里)のホテルラングウッドにおいて開催しました。加盟組合から代議員66名と多数の傍聴者が出席して討議を行い、2006年度の日建協活動をスタートしました。



●名刺交換会



日建連
長橋常務理事



連合
高橋副事務局長



(財)リバーフロント整備センター
竹村理事長



乾杯
フジタ職組 古郡委員長

年度日建協活動方針の説明が行われ、大会初日を終わりました。

大会2日目は、3つの分散会において、前日説明された2006年度活動方針について、出席代議員と日建協執行部が熱心な討議を行いました。加盟組合からは活発に意見、質問が出され、2006年度の日建協活動を加盟組合が一体となって行うことを確認しました。午後からの全体会議においては、提案されたそれぞれの議案が審議され、出席代議員全員の賛成により、可決・承認されました。

名刺交換会

大会に引き続き、数多くのご来賓の方々と加盟組合執行委員の出席のもと、名刺交換会をペンタユニオン武田さんの司会により開催しました。宮野議長の挨拶に続き、来賓の日本建設業団体連合会(日建連)の長橋常務理事から「次世代が魅力を感じられる産業を目指して、共に協力して取り組んでいこう。」との挨拶をいただき、連合の高橋副事務局

長からは「建設産業を代表する産業別組織として連合に積極的に参加してほしい。」との挨拶をいただきました。続いて、財団法人リバーフロント整備センターの竹村理事長からは「インフラの弱体化は国家の存亡につながる重要な要素である。今その産業に携わる皆さんには、高い自負をもって働くことを期待したい。」との挨拶をいただきました。

また、フジタ職員組合 古郡委員長より「日建協を構成している私たち加盟組合が積極的に参画することにより、日建協活動を盛り立てていきましょう。」との力強い挨拶とともに、乾杯の音頭をとっていただき、会は和やかなうちに進行しました。

会の途中において、退任される4名の執行委員を代表して、池口前事務局長から在任中の活動を振り返って、活動を共にした各組織の皆さんへの感謝の挨拶がありました。最後に、2006年度日建協新執行委員の自己紹介と、勝瀬事務局長から退任役員への労いの言葉、また2006年度の活動に対する決意表明を行い、閉会しました。

分散会主査



佐藤職組 中嶋委員長



銭高労組 小林委員長 東鉄労組 関委員長

アシスタント



ペンタユニオン 武田さん



銭高労組 萩原さん 青木あすなる職組 岩隈さん

『働く喜び』『やりがい』のある産業へ!

冒頭、宮野議長より「昨年度は耐震偽装強度問題、アスベスト問題など建設業を取り巻く環境変化が大きかった。厳しい状況ではあるが、決して恐れず、あきらめずに一人ひとりが改善にむけて声を出して、加盟しているすべての組合員と力を合わせて、『働く喜び』『やりがい』を感じられるように取り組んでいきたい。」との挨拶があり大会が始まりました。

来賓の方々からの 温かいエール

多数お越しいただいた来賓を代表して、4名の方に挨拶をいただきました。

日本労働組合総連合会(連合)の逢見副事務局長から、「経済、地域、働き

方などの格差が広がり、真面目に働いている人が苦しんでいる。連合と共に格差是正に取り組んでほしい。」との挨拶をいただきました。また、国土交通省総合政策局労働資材対策室の岡室長から、「建設産業は国を支える基幹産業であり、そこで働く人材の確保・育成は重要な問題である。働きがい、生きがいのある産業を目指していきたい。」との挨拶をいただき、厚生労働省職業安定局建設・港湾対策室の荒牧室長からは「統一土曜閉所運動など日建協の取り組みに心から敬意を表したい。産業全体の魅力向上にむけて厚生労働省もサポートしたい。」との言葉をいただきました。最後に、同じ建設産業の労働組合である建設連合の小川委員長より、「時代は大きな転換点を迎えている。『安心・安全・安定』にむけた組合活動を共に行っていきたい。」とのエールをいただきました。

2005年度活動報告

続いて提言活動や統一土曜閉所運動などの2005年度の活動報告・決算報告について審議し、出席代議員の全員の賛成により承認・可決されました。

2006年度活動方針が 承認され、新体制スタート!

2006年度執行委員の選挙が行われ、勝瀬事務局長をはじめとする新執行委員が選出されました。(4,5ページを参照) 新執行部を代表して、喜多副議長より「スローガンの『新たなステージへ』という言葉には、実際に働いている私たちが建設産業、労働環境を変えていく、という決意を込めた。今年度も日建協活動に積極的に参画してほしい。」と挨拶がありました。この後、執行部より2006



連合
逢見副事務局長



国土交通省
岡労働資材対策室長



厚生労働省
荒牧建設・港湾対策室長



建設連合
小川委員長



採決の様子



役員選出投票の様子



分散会の様子



議長団 戸田職組 山本委員長(左)
鴻池労組 比嘉委員長(右)



退任役員 左から 鈴木前局長次長、
池口前事務局長、佐久間前副議長、時田前副議長

2006年度 日建協の 活動& 本部役員

みやの かすや
宮野 一也 議長
間組職員労働組合/土木



●いつもこやかに笑っている印象とはうらはらに、メガネの奥でキラリと光る鋭い眼光は、日建協の方向性を見据えて、私たちをぐいぐい引っ張っていかけてくれるでしょう。

🎤 本年も組合員の方の思いをがっちり、しっかり受け止め、信頼されるように活動していきます。

かつせ もとひこ
勝瀬 宗彦 事務局長
奥村組職員組合/事務



●関西弁で、ぼつりとつぶやく言葉が核心をついている勝瀬新事務局長。これからの2年間を、日建協の要としてまとめていくことでしょ。どうぞ期待。

🎤 加盟組合のみなさんとあらゆることで直接話し、おおいに悩みます。

きた ひさよし
喜多 久嘉 副議長兼政策企画局長
西松建設職員組合/事務



●今年3年目。副議長となる今年は、労働条件Gの顔から日建協の顔となり、さらなる飛躍の年となります。組合員のみならず、そんな喜多副議長に熱いエールを送って下さい。

🎤 今年の目標は「自ら実践するワークライフバランスの実現」です。精一杯頑張ります。

しばはら ひであき
芝原 英彰 副議長兼政策企画局長
五洋建設労働組合/事務



●日建協の政策提言をまとめ、実行にうつす男。2006年も帰れない日が何日あるだろうか。生き生きと活動する最後の1年に確かな手ごたえを持っている!!!!

🎤 「産業の元気は、まず自分から！」を台言葉に、今期も組合員のみならずと走り続けたいと思います。

くどう えいじ
工藤 栄治
副議長
兼組織局長
戸田建設職員組合/事務



●1リットルの涙ならぬ、1リットルの麦茶を毎日欠かさず飲んでいる工藤さん。日建協の屋台骨を支える良識人は、今年度も日本国内を西に東に駆け巡ります。

🎤 いよいよ集大成の年です。思い残すことのないよう、提案、即実行していきます。

さとう みちお
佐藤 道男
政策企画局
(労働条件)
フジタ職員組合/土木



●都市土木の現場で鍛え上げた緻密さと土木屋独特の豪快さと兼ね備え、新しい旋風を巻き起こしてくれるでしょう。付き合えば付き合うほど味の出てくるニューフェイスをよろしく!

🎤 現場の粋から一歩踏み出して、建設業の将来を考えていこうと思います。

きっかわ かずひろ
吉川 万博
政策企画局
(労働条件)
東洋建設職員労働組合/事務



●広島県出身、曲がったことが大嫌い。何事にも理想をもってきっちりこなす熱い男! 日建協活動においても、持ち前のフットワークで必ず活躍してくれることと期待しています。

🎤 一人でも多くの人と出し、色々なことを吸収して頑張っていきたいです。どうぞよろしくお願ひいたします。

あおもと けんご
青本 健吾
組織局
(組織・広報)
シミズユニオン/事務



●「西に仕事とあれば熱いハート、東に宴会とマイクあればお茶目な笑顔」で大活躍の「青ちゃん」。日建協でも持ち前の粘り強さと優しさで我々を引っ張ってくれることでしょう。

🎤 小さくてモイイ。皆様からの声を大きな波に変えていきたい。そんな心意気でいきたいです。



つかもと ふくじ
塚本 福二 事務局



●建設産業の古き良き時代を知る、貴重なご意見番です。これまでの経験に基づいた、鋭いアドバイスを要所、要所で投げかけてくれます。これからも頼りにしています。

🎤 一人はみんなのために、みんなは一人のためにの精神でがんばりましょう。

まつい ひさえ
松井 久恵 事務局



●各種調査・アンケート集計の要として、これまでの経験と研ぎ澄まされた視点から一工夫を忘れません。また会計担当としても、冷静に、確実に、そしてあたたかく執行委員を見守ってくれています。

🎤 会計と調査を担当しています。今年1年間頑張りますので、アンケート調査にご協力をお願いします。

い で ますみ
井出 真澄 事務局



●コンパス編集からデザイン、カメラマン、ホームページの管理などなど、なんでもこなす才能豊かな井出さんです。

🎤 細腕ながらWeb Compass立ち上げとHPリニューアルに力を注いでがんばります。

やぎ のりこ
八木 規子 事務局



●日建協本部事務所の総務の役割を担っている八木さん、本部メンバーのわがままを今年も聞いてください。毎日おいしいコーヒーありがとうございます。

🎤 共済制度事務局員として加入者の方からのお問い合わせに迅速に答えられるよう努力してまいります。

もり ひろや
森 裕也
副議長
兼組織局長
鴻池組労働組合/事務



●毎朝8時前に出社し、夜遅くまでいます。組織局を担当して3年目。大きな体とそのバイタリティーは、組合員減少と財政難という大きな問題の解決に力を発揮してくれそうです。

🎤 この1年が悔いの残らないよう、己を鼓舞し、前を向いて活動していきます。

さわだ ゆきお
澤田 幸雄
政策企画局次長
(産業政策)
飛鳥建設労働組合/土木



●行動するパソコンист! パソコン全般にめちゃ詳しいうえ、フットワークも軽く舌も滑らか。身に蓄えたエネルギーを建設産業のためにフル活用してくれるでしょう。ご期待ください!

🎤 2年目になった今年、中間管理職として身を削る(ダイエット)想いでがんばります。

かわぞえ よういち
川副 洋一
政策企画局次長
(産業政策)
三井住友建設社員組合/土木



いつも明るくにぎやかな川副さん。2年目の今年は産業政策の要として、同期の澤田さんとの仲良しコンビでバリバリ頑張ってくれるでしょう。

🎤 組合員みなさんの声の代弁者として、今年もゴール目指して走っていきます。

Kankyo
環境にいい。

Kenkou
健康にいい。

Keizai-teki
経済的。

→これがサイクリングの**3K**だ。



日建協副議長
芝原 英彰



忙しい毎日から離れて、休日にはのんびりサイクリングなんて、いかがでしょう。

ひとりでポーッと散策するもよし、家族や仲間とワイワイと出かけるもよし。爽やかな風をきりながら自然をゆっくりと満喫すれば、忘れかけていた季節の匂いとともに、癒されていく自分を発見できますよ。



子供からお年寄りまで手軽に利用できる交通手段である自転車は、通勤・通学や買物の足として日常生活に欠かせない存在です。(財)自転車産業振興協会の資料によると、国内の2005年の自転車保有台数は8,660万台にのぼり、国民の半数が1台以上保有している計算になります。

自転車は排気ガスを出さない環境にやさしい乗り物として注目されており、政府の「地球温暖化対策推進大綱」の中では、“安全かつ適切な自転車利用の促進”が位置づけられています。また、健康増進効果に対する期待も高まるとともに、燃料代が高騰するなか維持費

用の手軽さからも、今後ますます自転車利用者は増えていくものと考えられます。

しかし、実際に街中を自転車で走ってみると、自動車や歩行者と接触しそうになったり、電柱や看板、放置自転車などが多く通りづらかったり、歩道の段差で転んでしまいそうになったりと、結構、危険な箇所が多いことを感じます。まだまだ日本の自転車利用環境は多くの課題を抱えているようです。総務庁のアンケート調査では、調査対象の3割が「自転車をもっと利用したい」と考えており、そのうちの2/3は、「自転車の利用環境が整備されればもっと利用したい」と回答しています。

このような状況をふまえ、国土交通省では、施策として「エコサイクルシティ(Eco-Cycle city)の形成」をあげ、自転車が人や車と調和するまちをめざした道路整備を進めています。街中でも安心して走行できる環境を、早く実現してもらいたいものですね。

一方、郊外の自転車道整備は着々と進んでいます。国土交通省では、1973



年から「大規模自転車道」の整備を行っています。これは、自然公園、名勝、観光施設、レクリエーション施設等を結ぶ自転車専用道路を整備するもので、



2003年までに、路線数135路線、総延長3440kmが整備されています。その周辺や他の地域にも、地方自治体が自転車専用道路等を数多く整備しており、インターネットで「サイクリングロード」を検索すると、日本全国各地に様々な自転車専用道路を発見することができます。サイクリングロードは、一般道とは違い安心して走れるので、初心者や家族でのサイクリングには最適です。

私が住んでいる千葉県にも、数ヶ所のサイクリングロードが整備されています。数年前に安売りで何気なく購入した折りたたみ自転車を車に乗せ、サイクリングに出かければ、ちょっとした小旅行気分を味わうことができます。「街中から近い場所なのに、こんなに自然が溢れていたなんて・・・。」と驚きます。いつも電車や車で通り過ぎる場所でも、自転車で走ってみると景色が違います。ゆっくりと行き過ぎる木や草花、昆虫や頭上を

舞う鳥。風の香りや日差しの暖かさ、植物の葉が揺れる音など、五感で自然を味わうことができます。

大きな公園や河川敷なども、自転車道がよく整備されています。オートキャンプやデイキャンプに自転車を持参すれば、行動範囲を広げることができ、楽しさ倍増ですよ。

東京の都心にもサイクリングコースが



あります。渋谷の代々木公園にはサイクリングセンターがあって、中学生以下には無料で自転車を貸し出してくれますし、国立競技場や神宮球場がある神宮外苑は、休日に一般道から車を締め出しサイクリング専用コースとなります。

ほんの一例ですが、欄外に全国のサイクリングロードを紹介しておきます。お近くのコースを是非楽しんでみて下さい。また、もう少し涼くなれば、絶好のサイクリングシーズンの到来です。11月11日の統一土曜閉所日に狙いを定めて、本格的なサイクリング計画を早めに立ててみるというのはいかがでしょうか？冒頭の「サイクリングの3K」に、「気持ちいい」と「パパがっかしい」を加えて「5K」になることでしょう。

全国のサイクリングロード(一部抜粋)

北海道	しこっこ 支笏湖公園自転車道	26.5km	千歳市街と支笏湖を結ぶ原始林を抜ける林間コース
山形県	さくらんぼサイクリングロード	37.1km	山形市から西川町までを結ぶコース
東京都	多摩湖自転車道	21.9km	吉祥寺 井の頭公園から多摩湖を周遊するコース。
新潟県	くびき 久比岐自転車道	35.5km	直津江から糸魚川までの日本海沿いコース
愛知県	とよたあんじょう 豊田安城自転車道	36.3km	明治・枝下用水路の管路化に伴う上部利用コース
大阪府	北大阪周遊自転車道	20.1km	大阪市北区から千里万博公園を結ぶコース
広島・愛媛県	瀬戸内海横断自転車道	85.9km	尾道～今治間の瀬戸内海を渡るしまなみ海道
高知県	くろしおしまんと 黒潮四万十自転車道	43.9km	清流四万十川沿いを走るコース
大分県	やば メイプル耶馬サイクリングロード	34.8km	JRの廃線跡コース。鉄橋やトンネルあり

※詳細やその他のコース等は、国土交通省道路局ホームページに紹介されています。

サイクリングの健康増進効果

サイクリングは、ジョギングやウォーキングと並んで代表的な有酸素運動であり、運動不足の解消をはじめ、体脂肪の減少や持久力の強化に効果があるとされています。サイクリングは、サドルで体重を支えるため、腰・ひざや筋肉に負担が少ないという利点があります。また、風を切って走る爽快感は、ストレスの解消に繋がること間違いナシ！ただ、慣れないうちに長距離サイクリングをしてしまうと、お尻が痛くなったり、疲れすぎたりしてしまいます。無理のない行程を心掛けましょう。熱中症や日差し対策のため、帽子をお忘れなく。こまめな水分補給も必要です。

意見交換会の積み重ねから 「次のステップ」へ

一提言「公共工事における無報酬業務を解消するために」の活動 この1年一

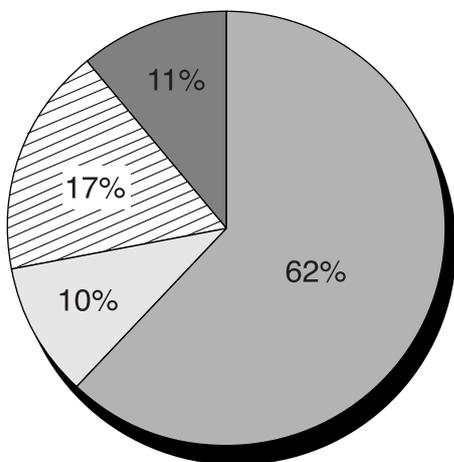
公共工事に携わる職場の環境は・・・

公共工事品確法の施行をはじめ、公共工事を取り巻く環境が昨今急激に変化していることは、みなさん感じていることと思います。旧来の慣習慣行に縛られずに、法律や契約に基づいて、私たちの持つ技術力を活かせるような方向へ、と流れが生じています。

では、最先端の職場で働く方々を取り巻く状況は何か変化してきているのでしょうか。昨年11月に行った時短アンケートで訊ねてみました。

現在あなたが従事されている業務の中で、請負契約にない業務、または本来発注者が行うべき業務を無償で行ったことがありますか？

(2005年11月 日建協時短アンケートより)



ある(負担である) ない
ある(負担ではない) わからない

日建協では、このような職場の声を基に、無報酬業務(対価を伴わない契約外業務)の解消にむけた提言活動を継続して行っています。

契約内容の明確化と片務的体質の改善を主張するこの提言は2年前にまとめたものですが、現在でも「こういう業務がある」という声は7割を超えています。

職場レベルで積み重ねてきた 意見交換では・・・

「無報酬業務が発生するのは、発注者側の制度や仕組み、体質にも問題がある。」

「受注者は入札段階で現場説明書・仕様書をもっとよく確認しなければいけない。」

「受発注者双方とも人員削減による過重労働と技術力の低下を訴えていかなければならない。」 …



意見交換会のひとコマ 左から細野氏(西松職組)、北畑氏(東洋職労組)、千田氏(バンタユニオン)、由井氏(三井住友社組)
～自治労神奈川県公営企業労働組合との意見交換より～

今年、発注者側の労働組合との意見交換会には40人近くの加盟組合のみなさんに参加していただきました。

2時間弱の意見交換会では、毎回白熱した議論となり、少々時間不足となっています。

昨年度 意見交換会を実施した相手先

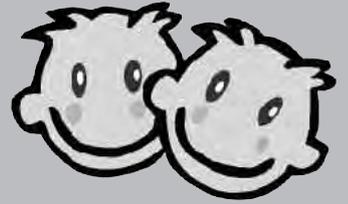
国土交通省職員組合 東北支部、全開発労働組合
自治労 市川市、神奈川県、大阪市、札幌市

提言活動3年目の2006年度には・・・

今まで行ってきた、国・地方自治体などの発注者側労働組合との意見交換会は10回を越えました。労働組合という枠組みを使って、働く者どうしという立場で、日常職場で感じていることを話し合えるこの取り組みは、今後も開催していきます。

それとともに、今年度、日建協では、意見交換会で集めた声を元に、国土交通省の各地方整備局や都道府県などへの発注者に対する提言活動を展開していきます。

「子供たちが憧れる産業をめざして！」



～東京都の小中高等学校で働く教職員組合(日本教職員組合(日教組)加盟)のみなさんが参加する「100万人の市民現場見学会」を開催しました～

建設産業の魅力を多くの先生に伝えたい!!

日建協は、子供たちの純粋な気持ちを育む立場にある教職員のみなさんに社会資本整備の重要性と建設産業の姿を正しく理解してもらうことは、「子供たちが憧れる産業づくり」に繋がる大切な一歩と考えています。日教組加盟の全国の教職員組合(78教組)の方々に広く「100万人の市民現場見学会」への参加を呼びかけた結果、2006年5月20日に社団法人日本土木工業協会(土工協)と見学会を共催しました。

見学会開催概要 <http://www.shutoko.jp>

①開催場所(首都高速中央環状新宿線、池袋南出入口付近)

●奥村・銭高・大本建設共同企業体

「SJ51工区～SJ53工区(内回り)トンネル工事」(シールド工事)

●奥村・浅沼・安藤建設共同企業体

「SJ61工区トンネル(その2)工事」(開削工事)



完成予想図

②参加者

- 東京都高等学校教職員組合(都高教)(高校の先生):22名
- 東京都公立学校教職員組合(小中学校の先生):2名



地下の大空間に驚きの声!

通常の仕事では決して見ることでできない道路(山手通り)の下に広がる大空間に、参加者から、驚きの声が出ていました。また、「整理整頓され非常にきれいだ」、「最先端の技術の素晴らしさを感じた」などの感想がありました。



トンネル内の大空間には、参加者一同驚いた。本日の現場見学で体感したことは生徒達にも伝えたい。



見学会後の数本書記次長(都高教)の挨拶

『すばらしい』の一言

「将来への希望を子供たちにとっても夢のある事業だと思う。」「悪いニュースばかりが取り上げられイメージが悪くなってしまふのは、とても残念なことだと思います。一人ひとりが誇りを持って仕事をしている現状を、多くの人に理解してもらう貴重な機会だと思います。」



土工協との連携で「必須!!防災知識」をもとに、防災の必要性をPR!

見学会終了後には、「必須!!防災知識」の説明会を開きました。説明会では、土工協の出席者より「この本を見ていただき防災知識の大切さを再認識していただき、総合学習等の場で、生徒さんへ正しい防災知識を教えていただきたい」と防災の必要性を直接伝えることができました。



「必須!!防災知識」

①作成:土木学会

(<http://www.jsce.or.jp>)

提供:土工協

<http://www.dokokyo.or.jp>

②最低限の防災知識を子供達にも分かり易く説明した教材です。

* 後日、土工協の協力を得て全国の教職員組合本部へも送付しました。

日建協は今後も様々な機会をつうじて、「子供たちが憧れる産業を目指した取り組み」を積極的に行っていきます。

加盟組合交流日誌

Exchange diary of affiliate unions

日建協では、加盟組合との「直接対話」を通して日建協活動の理解促進に努めています。
今回は勉強会や作業所訪問を含む、6つの加盟組合との交流をレポートします。次回はあなたの組合を訪問するかも知れません。

西松建設職員組合

作業所の声を提言活動に活かして!

～全国支部長会議～ 2006年5月19日(金)

全国各支部の支部長が集まる会議において開催された、日建協の提言活動に関する意見交換会に出席しました。

「民間分譲マンション工事における契約体質の改善にむけて」の提言については、「分譲マンション工事は主力工事になっている。提言活動をつうじて労働環境の改善に繋げてほしい」など、提言活動への期待を込めた声がありました。また、「公共工事における無報酬業務を解消するために」の提言においては、「提言書に書かれている内容のケースもあり、作業所で苦勞することがある」や「ある地方整備局では『土木工事設計図書の照査ガイドライン(案)』をホームページ上で公開している。意見交換の参考にしてみてもどうか。」など、作業所の現状や今後の提言活動につながるアドバイスまで、多くの意見がだされました。

この日、全国から集まった支部長は、作業所の第一線で働く担当者も多く、作業所での経験をつじた率直な感想や、今後の提言活動において活用できるさまざまな意見がありました。予定されていた時間をオーバーするなど、提言活動に対する期待の強さを改めて感じることができました

本部執行役員のみなさん



小田急建設労働組合

受発注者の関係について言いたい!

～第30期新旧支部役員セミナー～ 2006年6月2日(金)

全国の支部から新旧の支部役員が一堂に会したセミナーに参加しました。

今回のセミナーは「日建協の活動を支部役員の声で組合員のみなさんに伝えてほしい」という思いを込めて「提言活動」「統一土曜閉所運動」「時短アンケート」というテーマ毎に、身近な事例を使って意見交換を行いました。出席者の多くは、提言活動に対する関心が高く「受発注者をもっとお互いの言い分を聞く耳を持つ必要がある」とか「発注者からの無理難題をフォローするのが、組織としての営業活動でもある。」などの意見が出されました。第一線の組合員が、請負契約について抱いている問題意識の高さをあらためて感じた一日でした。

また、チーム対抗のディベート(肯定・否定の二組に分かれて行う討議)も行われ「統一土曜閉所日を増やす」「初任給向上を統一要求する」「家族手当を廃止する」という3つのテーマが設定されました。賛否に分かれることで、いつもとは反対の意見を言わなければならない自分に戸惑ったり、相手チームに対する反論に思わず語気を荒げてしまったりと、

普段とは一味違った形で支部役員のみなさんとの交流を深めることができました。



井上工業職員労働組合

時短活動のさらなる充実に向けて!

～執行委員意見交換会～ 2006年5月22日(月)

春の会社訪問後、会社訪問に同席した執行委員の皆さんと、日建協活動や組合活動全般について意見交換会を行いました。

現在、井上工業職員労働組合が推進している、労働組合と会社が労働時間の短縮にむけて取り組む労使委員会について意見交換しました。天笠委員長や清水書記長からは、『労使委員会をこれから設置、運営していくうえで、効果的な取り組みとするには、どのようなことに注意していけばよいのか?』などの質問がありました。日建協からは、既に労使委員会を設置、運営している加盟組合の状況や取り組み内容を紹介しました。

また、提言活動に関しては、実際に公共工事に従事している執行委員から、「発注者側の理由により、入札時の事業計画から半年近く遅れて着工したにもかかわらず、竣工引渡し日がそのままとなっていることが、休日作業を余儀なくされる原因のひとつとなっている。」等の意見がありました。

本部執行役員のみなさん



大鉄工業労働組合

退職金制度について学ぼう

～退職金勉強会～ 2006年6月24日(土)

大鉄工業労働組合は、次年度に労使交渉を行う予定の退職金制度改定にさきかけ、退職金勉強会を実施しました。組合本部、本社支部、福知山支部、米子支部、北陸支部、四国支部の役員17名が参加し、日建協本部役員が講師を務めました。

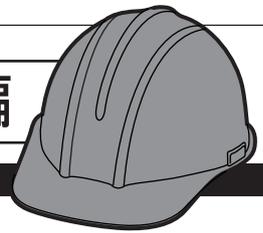
勉強会では「ポイント制退職金制度」と「キャッシュバランスプラン」をテーマに、退職金制度全般の概要や、制度導入にあたってのメリットや留意点などを中心に講義が行われました。質疑応答では、北野委員長からポイント制退職金制度の設計についての質問があり、続いて多くの出席者から質問が出され、制度導入にむけて、各役員の方が真剣に取り組まれていることが伝わってきました。

また、講義後の意見交換会では、日建協活動全般の紹介と説明を行いました。鉄道工事施工に伴う問題点や、労働時間に対する組合員の意識についてなど、組合員の身近に起きている課題について、意見を交わしました。進行役を務めた柴垣書記長の持ち前の明るさのもと、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換会が開催されました。



質問する藤川副書記長
(現書記長)





ハザマユニオン東北支部

巨大ダムに挑む仲間たち

長井ダム本体建設工事 2006年6月15日(木)

長井ダムは最上川の支流である置賜野川上流に建設される多目的ダムです。完成すれば、堤高125.5m、堤頂の長さは381mとなり、東北地方でも最大級の重力式コンクリートダムとなります。本体工事の施工は、間・前田・奥村特定建設工事共同企業体が担当しており、今回、ハザマユニオン渡辺委員長の呼びかけで、日建協の現場訪問が実現しました。

現場見学後には、作業所に勤務するハザマユニオン12名のみなさんに集まっていたいただき、作業所における労働時間の現状や日建協の提言活動などについて、活発な意見交換を行ないました。ダム工事特有の夜間コンクリート打設による業務があるものの、休日取得については、年間休日を年度初めに設定し、協力業者にもオープンにして作業にあたることにより作業所は4週6休で閉所できているとのことでした。

なお、作業所には、入社2年目の女性技術総合職の方も勤務しています。慣れない宿舍生活に加え、男性ばかりの職場で苦勞も多いのではないかと思いましたが、本人は「実際に『ものづくり』に携わるゼネコンに魅力を感じ入社した。早く仕事を覚え、先輩のようにてきぱきと仕事をこなしたい。」と前向きで、明るく語る表情には逞しさを感じました。



下川原さん



「逞しい先輩方」左から 川本主任、諸澤さん、三村さん

ペンタユニオン中国支部

現場の声が明日を創る

物流センター新築工事、阿賀マリノ大橋橋梁下部工事、日建協中国地域連絡会 2006年7月3日(月)～4日(火)

広島県福山市南部の埋立地の最先端に位置する物流倉庫の建築工事現場を訪問しました。「物流倉庫としては余裕のある工期設定ができています」とのことで、日曜日は閉所し土曜日交代で休んでいるとのことでした。しかし、訪問時は施工図の作成・チェックに加え、基礎工事と平行して部分的に鉄骨の建方作業が始まるなど工種が重複しており、やや多忙気味であるとのことでした。意見交換会では、「受注競争の中では、日曜日を予備日として計画するなど、工期を無理して設定している場合が多い」などの意見が出されました。また、土木工事では、広島港にかわる交通・物流の結末点として新たに注目されている呉市東部の埋立地区からのアクセス道路となる阿賀マリノ大橋(仮称)の一部を施工する橋梁下部工事を訪れ、見学と意見交換を行いました。

また、広島市内では日建協加盟組合による中国地域連絡会が開催され、シミズユニオン、戸田職組、ペンタユニオン、飛島労組、ハザマユニオン、鴻池労組、東洋職労組の中国支部の方々が出席し、ペンタユニオン野中委員長と日建協本

左から大石所長、佐々木主任、上田さん
(阿賀マリノ大橋工事事務所)



部3名を含め19名で活発な意見交換を行いました。なかでは日建協活動について、時短の取り組みや提言活動などから、「賃金不払い残業」「労働時間と能力評価の関係について」まで、幅広い質問や意見が飛び交いました。

Compass★WEB版

★オープン!★



いよいよ、この9月号からCompassを電子化します。といっても紙面版ファンのみなさんご安心を。しばらくは両方併用でお届けします。

紙面版ではできなかったフルカラーで、他にもいろいろ楽しい仕掛けを考えています。

メールマガジンの形で発刊をお知らせしますのでとにかくアクセスしてみてください。



新アドレスは以下のとおりです。

www.jcu-compass.com

日建協の共済制度

ただいま
申し込み殺到!

締切日は9月22日!

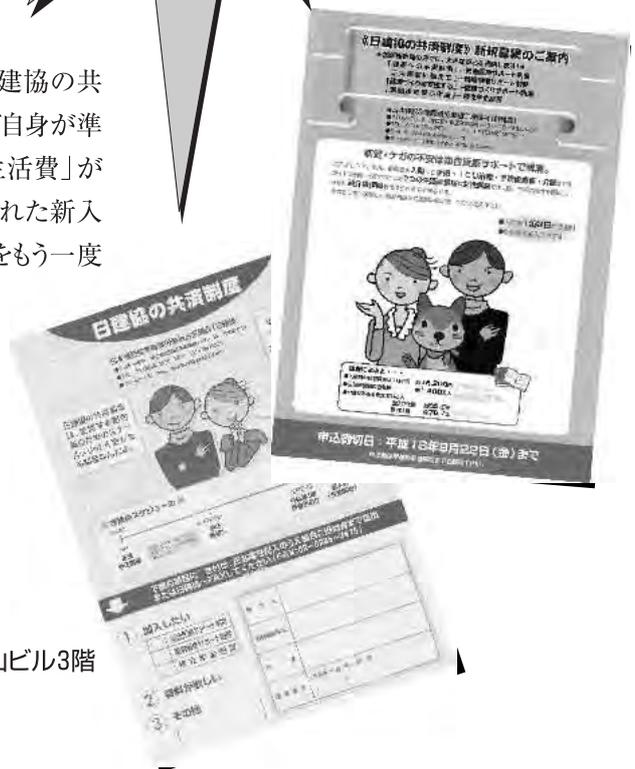
2006年度新規募集の締切が、目前に迫っています。

組合員のみなさんは、これまでにお配りしたリーフレット「日建協の共済制度」・「医療保障について考えよう」をご覧になり、現在ご自身が準備されている「突然の医療費の支出」や「ゆとりある老後の生活費」が十分なものか見直されましたか?特に、今春新たに仲間入りされた新入組合員の方たちは、「社会人になって準備しておきたいこと」をもう一度ご覧になり、ぜひともこの機会を逃さないください。

Compassを見ている今このときが、最後のチャンスです。至急申込用紙を日建協までお送り下さい。新規募集パンフレットがお手元に無い方は、今すぐご連絡下さい。

最終募集締切日 9月22日(金)必着!

お申込・お問合せは、日建協 森、八木まで
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3階
TEL 03-5285-3870
E-mail nikkenkyo@nifty.com



労働契約法制、労働時間法制に関する勉強会

(2006.07.05) *Topics*

どうなる？労働時間法制

現在、厚生労働省において検討が進んでいる、労働時間法制（労働基準法）の見直しや新たな労働契約法の制定について、日建協本部役員を対象に、連合総合労働局雇用法制対策局、村上部長をむかえ勉強会を実施しました。

労働時間法制？労働契約法？と言ってもピンとこないかと思いますが、労働時間法制の見直しでは、「自律的労働時間制度」と言われる一部のホワイトカラー労働者を労働時間の規制から除外（時間外手当が支払われない労働者の拡大）しようとする制度の導入が検討されています。また、労働契約法は、私たちと会社の雇用契約のルールを定めたもので、解雇をめぐる裁判などで争いになり、職場への復帰が難しくなったときにたとえ不当な解雇であっても、お金を支払うことで解雇を認める仕組み（解雇の

金銭解決制度）などが検討されています。勉強会では、実際の厚生労働省の審議会の模様や、現状の動きなどについても説明がありました。

日建協では、今後もどのように議論が進むのか、どのように法律が変わっていくのかなど最新の動きを追い、私たちにどのように関わってくるのかを伝えていきたいと思えます。ぜひ注目してください。

※「コンパス号外 2006.July vol.2」をご参照ください



講師をしていただいた
連合村上部長

国土交通省関東地方整備局 門松局長訪問

(2006.07.07) *Topics*

わたしたちの現状と声を意見発信

門松関東地方整備局長（現・河川局長）を訪れ、日建協が取り組む時短問題や無報酬業務の現状などについて意見交換を行いました。私たちの年間総労働時間は2800時間と、他産業の2000時間に比べて長く、家族からも心配する声が多く寄せられている状況を伝えました。また、国土交通省発注工事の平均残業時間が1ヶ月あたり約90時間となっており、他の発注機関よりも多くなっている実態を説明しました。

門松局長は、総合評価方式について「総合評価方式の実施は、発注者・受注者とも今は手探り状態の部分も多い。（運用の定着に向けて）双方が話し合っていくことが理想だろう。」と、受発注間の意思疎通の必要性を示されました。また、低入札受注の増加について、日建協も現状に困惑していることに対し、国土交通省は今後も詳細に動向調査していくことを明言されました。

建設産業を志望する学生が減少している状況について

は、門松局長自身が黒部ダムに憧れて土木技術者を志したことをあげ、仕事に「生きがい」を持てるビッグプロジェクトが少なくなっていることが原因のひとつなのではないかとの見解を示されました。

他にも、日建協が提言活動をしている受発注間の片務性に関する話題について、「産業別労働組合として、現場の生の声を今後も発信してほしい。」とのエールをいただきました。



クロスワードタイム

残暑とは言うものの、朝晩は少し過ごしやすくなったでしょうか。みなさんの所属する労働組合でも大会があり、新しい役員が選出されたことでしょうか。ここはひと段落、クロスで一服してください。二重枠の言葉を並べ替えて答えを出してください。答え、郵便番号、住所、氏名、組合名、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。

■メ切:10月6日(金) ■宛先:〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3階 日建協クロスワード係 (Mailはこちらへ nikkenkyo@nifty.com)

ヒント:

賃金交渉、時短推進…。

やることはいろいろあるけど、一番重要なのは「働くあなたの声」です!

1	2	3	4	5	6	7	8
9			10	11			
12			13				
14			15		16		17
18		19		20		21	
		22			23		
24	25		26			27	28
	29		30	31		32	
33			34		35		36
37			38				

ヨコのカギ

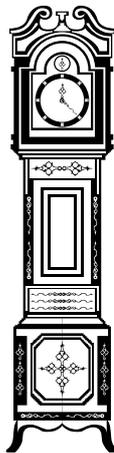
- 秋の七草の一つで、オトコエシ(男郎花)に対する花です。
- 細長く焼いたシューにカスタードクリームをはさんで、上からチョコレートをかかけたスイーツ。
- 田舎の反対語は?。
- この夏もたくさんのお会場で行われました。雨が降ると中止になる場合があります。
- 英語ではダークブラウンという色です。
- 屋根の雨水を受けて、地上に流す仕掛け。
- 元素記号はAuで、化学的に極めて安定した物質。
- 西から吹く風です。
- 起こってはならないことを予測して言う言葉です。
- ワサビ、ショウガ、ネギなどの総称です。
- ハマの大魔神・佐々木や江夏豊などが、かつてこう呼ばれていました。
- 東京都23区のはほぼ中心に位置するのは「○○○区」。
- 映画「いぬ」「柔らかな肌」「リスボン特急」などに出演したフランスの俳優「ジャン・○○○」。
- クリのいがに似たトゲで覆われた、海に棲む棘皮動物です。
- 乳幼児を育てること。
- 病気の治療や予防方法を研究する学問。
- アニメ「母をたずねて三千里」や「みなしごハッチ」の共通のテーマになっています。
- ドラマ「刑事コロンボ」の有名なセリフ、「うちの○○○がね」。
- 東京に住んでる人です。
- 日本をはじめ、イタリアやコスタリカは世界からこう呼ばれています。

タテのカギ

- ボーイフレンドのことです。
- 花崗岩の別称。もともと兵庫県御影地区で採れた石の総称でした。
- 北海道では、本州のことをよくこう呼びます。
- 業務用の社員管理ソフトでは、6桁の数字で入力するのが一般的です。
- 体は菱形で平たく、尾が糸のように細長い海の生き物。
- 建設機械の中でも、鉱石、岩石などの粉砕機をこう呼びます。
- ハワイに行くと、よく空港で首にぶら下げてもらえます。
- この夏もジージーと、うるさく鳴いていました。
- 1964年に創刊された月刊の漫画雑誌。
- 干しのりをあぶって、すぐ食べられるようにしたもの。旅館の朝食には欠かせません。
- 漢字を形づくる、線や点の数。
- 一杯詰まっていて、全く余裕のない様子。
- 直接塗りつけます。
- 映画を上映し、観客に見せる常設の施設。
- 十五夜過ぎの数日間、日が暮れて月が出るまでの間が暗いこと。
- 「○○○○炭素」、「○○○○マンガン」、「○○○○窒素」。
- 〇〇自賛。
- 大場、武田、遠藤に共通した名前です。
- 物がすれあったり、何かをしたりした時に、空気中を通じて我々の耳に感じられるもの。
- 商店で商品を普通売るときに値段。
- 紙幣のことです。

No.767クロスワード 正解と当選

ア	ジ	サイ	セ	ミ	ロン	グ
メ	ダ	カ	ノ	ガ	ツ	コウ
フ	イ	チ	キ	シャ	カイ	
ツ	ト	ネ	ン	ブ	ツシ	
テ	イ	キ	ピン	カリ	ノ	ヨ
ジ	カン	サ	ハ	ジ	リ	ウ
カ	リ	イ	コ	イ	ノ	バ
タ	ン	イ	ス	シ	イ	セ
マ	グ	カ	ッ	ブ	チ	エ
ル	ク	ウ	レ	イ	エ	ン



答えは「トキノキネンビ(時の記念日)」でした。

たくさんのご応募ありがとうございました。次の30名の方が当選されましたので、追ってクオカードをお送りします。また奮ってご応募ください。

片山充一(青木あすなろ)、赤井澤拓也(アサヌマ)、阿部義彦(安藤)、三宅栄一(奥村)、榎園豊隆(小田急)、下山 保(鴻池)、近藤 剛(国土)、土井貞次(佐藤)、高橋芳明(シミズ)、小林恵一(銭高)、廣瀬淳司(大日本)、金井隆二(大豊)、平田惣一(鉄建)、石川寛子(東鉄)、加藤 章(東鉄)、山崎啓介(東洋)、高田敏光(戸田)、熊谷幸樹(飛鳥)、岡村貴彦(西松)、山根宏之(ハザマ)、峯 純子(ピーエス三菱)、山崎晴美(藤木)、高力善幸(フジタ)、片山佳昭(松村)、松林富裕子(馬淵)、中村 夢(丸彦)、改田正貴(三井住友)、小笠原浩二(宮地)、廣田直子(名工)、金田敦子(横河) <敬称略>

もや 舟方い

2005年度のCompass発行人を退くにあたり、一筆啓上させていただきます。

先日、業界団体のお誘いで環境ボランティアに参加してきました。「ニホンヤマネ」という体長約8cm・体重18gほどの準絶滅危惧とされている小動物の巣箱作りです。私たち建設産業は、防災や生活基盤の維持向上、また産業のスピード化など様々なニーズにこたえるために道路を建設しています。ところがそのために先住者(動物)の道路(獣道)が寸断されてしまう場合があるのです。そこは、餅は餅屋で動物用の歩道橋を

作ることで対応したりしていますが、歩道橋ともなると調査から施工まで、かなりの日数と費用がかかってしまいます。そこで考えられたのが分断された地域毎に「住宅」を提供するということだったのです。

今、新たにものを造るということは環境や先住者の生活を維持することが求められます。それはとても大変なことで、多くの苦勞と知恵が必要です。でも考え方によっては、動物の道路を建設するなんて、まだまだ建設産業も「夢」のある職場と言えるのではないのでしょうか。(M. I)



ヤマネの巣箱作り

やりがいと成長を実感できる会社を目指して

フジタ職員組合

(株)フジタは広島市で創業して90年を超える歴史を持つ会社です。昨年、新中期経営計画を策定し「新しいフジタ」としてスタートを切りました。今回は神宮外苑と新宿御苑が一望できる本社11階の組合室で、新旧の本部執行役員の皆さんに、話を伺いました。

- 設立：1951年4月8日
- 支部数：8支部
- 組合員数：1,632名
- 本部執行委員数：9名
- (2006年6月現在)
- 本部執行委員会：毎月1回開催



佐藤副委員長
(日建協派遣)

左から
池口前副委員長(日建協派遣)、
松本さん、古郡委員長、
小林書記長、安廣前書記長、
角谷前副委員長

組合のスローガンはありますか。

古郡委員長——

前期は「みんなの力を一つに合わせ、確かな一歩を踏み出そう」、今期は「確実に前へ」で、サブテーマとして「やりがいと成長を実感できる会社を目指して」を継続して掲げています。会社が新しい一歩を踏み出したので、会社と社員が一丸となって良い会社をつかっていこう、という思いを込めました。成長という言葉には、会社もですが、社員一人ひとりの成長を含めています。



古郡委員長

組合として力を入れて取り組んでいる課題がありましたら教えてください。

古郡委員長——

前期から新賃金体系の構築と賃金水準の向上を重点に取り組んでいます。よりよい制度を導入することも大事ですが、社員がやりがいを感じられる、納得のできる評価制度の運用も大切だと考えています。制度ができた後も継続して会社側に組合員の声を伝えて、より良い制度にしていきたいと思っています。

組合員からの意見を収集するためには、どんな方法を使っていますか。

安廣前書記長——

「組合風土調査」というアンケートを年に2回実施しています。同一設問を同一人に回答してもらい、定点観測的に行っています。その調査から、職場で問題になっていることが絞りこめるので、組合活動に活かすことができます。



安廣前書記長

自分の組合を一言で言うと。

安廣前書記長——

「明るく、チームワークが良い」です。特に支部が独自で若手勉強会やレクレーションを企画しています。こうした横の繋がりをこれからも維持していきたいと思っています。

日建協に加盟して良かったと感じている点、また日建協に期待することは何ですか？

古郡委員長——

同じ悩みを分かち合えることが一番良い点だと感じています。日建協に期待することは、産業の魅力化にむけた取り組みです。私たちの組合でも若手社

員の減少が気になっています。就職を考えている大学生に建設産業をアピールするなどの取り組みは大賛成です。私たちも産業に携わる者の一員として、できるだけ協力をしたいと考えています。

最後に、どうしてもこれだけは言っておきたい、ということは何でもどうぞ。

小林書記長——

組合活動のスタンダードは何か、またフジタ職員組合の独自性をどのように確立していくかについて、日建協の加盟組合の皆さんと意見交換、情報交換しながら答えを見つけていきたいと考えていますので、これからもよろしくお願ひします。



小林書記長

会社が新しいスタートを切って変わろうという流れに、それを支える職員として全力で取り組んでいく、という意気込みを組合執行部の皆さんの言葉から伺うことができました。

定期大会を間近に控えて、御忙しい中でしたが、取材にに応じていただき有難うございました。